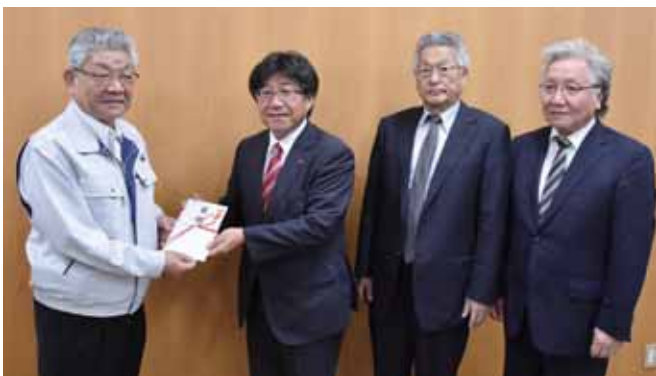


福祉の向上に活用

8月23日、苫小牧電気工事業共同組合から安平町に対し、車いす2台が寄贈されました。

今回の寄贈は、組合の創立50周年の記念事業の一環として行われ、町内にもこの組合に加入している企業があるという縁で実現。

寄贈を受けた瀧町長は「感謝している。町内の公共施設で活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べていました。



安平町で夏合宿

8月は、法政大学スピードスケート部やトライアスロン男子選手、東京農業大学応援団などの夏合宿が盛んに行われました。

林道やプール、公園など町内の施設を十分に活用し、体力や精神を強化。個々は切磋琢磨し互いに刺激を受け、団体にとっては団結力を高める合宿となったようです。

今後の皆さんの活躍に期待しましょう。



トーク2016

胆振管内7町の中堅職員が、それぞれに抱える自治体の問題や課題を発表し、胆振総合振興局長らと意見交換をするトーク2016が8月25日、町民センターで開催されました。

安平町と同じく少子高齢化問題や移住定住を促進するための取組み、子育て支援などの課題が発表され、国の制度などを上手に活用する方法などアドバイスをもらい、研さんを深めました。



平和祈念式典

8月27日、平成28年度安平町平和祈念式典が追分公民館で執り行われ、およそ100名が参加し、122名の英霊に祈りを捧げました。

瀧町長は「当時の悲惨なできごとを風化させてはいけないうことを誓い、世界の恒久的な平和を願っていきたい」と式辞を述べ、参列者とともに献花。

第二部は、広島平和記念式典に参列した平和大使による報告会が行われました。



大根踊りに大歓声

8月24日から26日までさらかば合宿所に滞在し、ときわ公園などで練習をしていた東京農業大学応援団(団員27名)が、26日早来小学校でリリーダー公開を行いました。

体育館には児童のほか、保護者や同大学OBが見学に集まり、学生服を着た団員により男気溢れる伝統の「青山ほとり」(通称大根踊り)が披露され、最後は安平町に感謝のエールを送っていただき、大歓声が沸き起こりました。



※報告会の様子は、広報あひら10月号で紹介いたします。